



No. 43

成田市
2017年2月発行



あらゆるひとを思いやるまち 成田をめざして



～いくつになっても、どんな状況でも夢や目標をあきらめない～

★Contents(主な内容)★

- ☆ 平成 28 年度男女共同参画講座開催報告②
- ☆ 市民が広げる男女共同参画社会
(男女共同参画推進員)
- ☆ 平成 28 年度男女共同参画推進員活動の感想
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法 5 本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

～平成 28 度男女共同参画講座開催報告②

フォーラム・イン・ナリタ

・実施日 平成 28 年 11 月 26 日（土）10 時 30 分～

・講師 辻井 いつ子 さん（ピアニスト辻井伸行さんの母、ラジオ・パーソナリティ）



「明るく、楽しく、あきらめない生き方」と題して、ピアニスト辻井伸行さんの母、辻井いつ子さんにご講演いただきました。伸行さんが生まれてすぐに眼が見えないと知って不安の中はじまった子育ては、音楽に出合ったことで、勇気や心の支え、感動を数多く得られたそうです。本人がパーソナリティを務める番組タイトルでもある「今日の風、なに色？」は、色を教えるいつ子さんに 4 歳の伸行さんが春の日に尋ねた言葉だそうで、風に色があると

感じた伸行さんの感性に感動されたそうです。講演の中で、親として、子どもの可能性を信じてあげることの大切さ、人は幾つになってもチャレンジしてあきらめないで生きていくことの大切さ、感動する気持ちの大切さを、教えていただきました。会場は、満員御礼で立見の余地もない多くの聴衆でした。明るく話されるいつ子さんのお話に魅了され、明日への勇気をいただきました。（堀越推進員）

第 3 回 男女共同参画セミナー

・実施日 平成 28 年 9 月 10 日（土）13 時 30 分～

・講師 福留 強 さん（NPO 法人全国生涯学習まちづくり協会 理事長、聖徳大学名誉教授）

第 3 回セミナーでは、「男女共同参画が地域を元気にする」と題して、自治体の生涯学習推進や地域の活性化方策などで全国的に大きな影響を与えている福留さんが、笑いをまじえながらお話下さいました。講演を含め、まちづくりに関与した市町村は約 1,000。その豊富な知識や体験に裏打ちされたお話は、具体的で分かり易いものでした。

“創年”を“自己を生かし、より良く創り変え積極的に生きようとする生き方”と考え、創年時代の生き方・楽しみ方の提案をして下さいました。「学ぶ場・集まる場・働く場等において、各自の特性をいかし、協力する事によって各々が持っている能力やパワーに違ったエネルギーが出てくる」「おもしろがって行こう。そうでなければ続かない」という言葉が心に残りました。また、「できるだけ社会を支える側にまわっていく」という考え方も大切だと感じました。参加した方からは、「自分の事で精一杯の毎日ですが、ふと振り返り時間が出来て良い一時でした」との意見もあり、有意義な時間を過ごせました。（渡辺推進員）



～市民が広げる男女共同参画社会～（男女共同参画推進員）



男女共同参画社会は、国や県、市の取組みだけで実現できるものではなく、私たち一人ひとりがその重要さや必要性を理解し、それぞれが主体的に取組を進めていくことが大切です。

そこで、市では市民一人ひとりが男女共同参画社会への理解を深め、意識の醸成を図るため、様々な取組をしています。

その一つに、男女共同参画推進員を委嘱し、各種講演会等の企画運営に参画していただき、市と市民が共に男女共同参画社会の推進を目指しています。

具体的な活動内容は、

- ① 講座の企画・運営・開催
- ② 情報誌「さざなみ」の作成
- ③ 地域における男女共同参画社会への啓発活動 などです。

※ 来年度、一緒に活動して下さる男女共同参画推進員を募集しています。詳しくは、最終ページ「さざなみインフォメーション」をご覧ください。





～平成28年度男女共同参画推進員活動の感想～

今年度、活躍していただいた男女共同参画推進員のみなさんから、活動の感想を伺いました。

辻井いつ子さんを講師としてお迎えした今年のフォーラムには、たくさんの方々が参加され、嬉しいことに何人かの方から私達に「男女共同参画」についての質問がありました。魅力ある講演会は人を集め活気を生みだすんですね。来年度の推進員の方もそれぞれの考え、方法で男女共同参画を推進していただきたいと思います。

(清宮推進員)

今年初めて男女共同参画推進員として活動いたしました。推進員の皆さんと一緒に企画・運営を行えたことを嬉しく、又、感謝いたしております。私が特に感動したものは辻井いつ子さんの講演です。絶望と不安の中、いつも明るく、楽しく、あきらめない生き方。ネガティブな言葉は使わず、ポジティブな言葉で背中を押してあげるといってお話に感動しました。

(不二山推進員)

新しい出会い、知識に触れ、実り多き一年でした。生きていく中で少しでも「生きにくさ」を無くしていくために、男女共同参画のメッセージが多くの人に伝わるとういなと思います。次年度は、是非男女共同参画推進員にチャレンジされる方がたくさん増えて、新しい男女共同参画を作り上げて欲しいと思います。一年間ありがとうございました。(堀越推進員)

(堀越推進員)

私が男女共同参画の推進員になったのは、さまざまなセミナーや講演でお話を聞くよりも、現実社会はもっと差別があると感じていたからです。しかし、1年たつていろいろな問題は別として、推進員さん達との関わりが楽しかったです。

(大森推進員)

「男女共同参画」とは如何なるものかとの想いで推進員に参加させて頂き、瞬く間に過ぎた充実の一年でした。共に地域の活性化、情報の共有化を広げ、社会に関わって共同し共働していく。その多岐にわたる活動が充実した地域生活に繋がっていくのかと実感致しました。もっともっと広がっていくべきであり、楽しい一年の活動でした。

(佃推進員)

いきおい込んで推進員に名乗りを上げたものの皆様の後をヒヨヒヨついていくだけでやっとです。結婚間近の娘が仕事で海外研修に応募するかしないかを話し合う中で、女性は結婚＝出産・子育ては切り離せず、将来の夢の大きな壁になる事を実感しました。どれもが夢を実現できる社会になるよう学び悩む女性の手助けができれば幸いです。

(油田推進員)

男女共同参画の活動を軸にして、広い分野及び世代に沿ったセミナーやフォーラムを企画する事は難しい事でした。今年度フォーラム・イン・ナリタは会場の設営、映像装置も加わり盛況裏に開催することができ、とても印象的な活動になりました。今後も「意識から行動へ」緩やかでも歩み続ける活動であればと思います。

(佐藤推進員)

男女共同参画推進員として、講演を聞いたり話し合いをする中で、様々な事を学びました。女性、男性の性別を越えた、自分にしかない個性を社会に広げていく事がこれから大切になってくると思います。他者との違いを認めることも男女共同参画のひとつではないか、そのためにも自分自身が心豊かであらねばと思っています。

(辰口推進員)

様々なセミナーを開催していく中で、これまで考えていた男女共同参画の概念よりも、実際は広義であると感じました。男女共に協力し合いながら、より良い社会を築いていく事を主眼としたものであるのだと考えました。これからも見識を深めていきたいと思っております。

(渡辺推進員)

男女共同参画推進員??なんのこと?と思いつつ参加してみると、日頃から気になっていたあの事この事、すべてがテーマでした。みんなが楽しく生きるには、一人一人が大切にされるには、私たちはどうすればいいのかを問い続けた一年間。充実していました。

(原推進員)



さざなみインフォメーション

★男女共同参画推進員を募集します

なんだか難しい言葉に感じる「男女共同参画社会」。言いかえると、「性別に関わりなく、個性や能力を發揮できる社会にしていこう」ということです。男女共同参画推進員は、講座の企画、運営、開催やさざなみの作成等、男女共同参画の推進に向けて様々な活動に取り組んでいます。私たちと一緒に「だれもがお互いを思いやることのできるまち」について考えてみませんか？

★応募資格 市内在住で平成29年4月1日現在
20歳以上75歳未満の人

★募集人数 10人（応募者多数は選考）

★任 期 平成29年4月1日～
平成30年3月31日

★応募方法 ①作文「推進員として目指すこと」（400字程度）、②履歴書（住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、これまでの社会活動等があれば記入）を、市民協働課に持参、郵送、Eメールで提出。
様式は問いません。

★応募締切 2月28日（火）必着
詳しくは、市民協働課へお問い合わせください。

『男女共同参画センター』 利用制限を解除いたします

成田市子ども館の外壁修繕工事の実施に伴い、平成28年9月より男女共同参画センターの一部を「なかよしひろば」として開設し、ご不便をおかけいたしておりましたが、この度「成田市子ども館」の工事が完了したため、平成29年2月1日より男女共同参画センターを通常どおり開館することとなりました。これまでご理解とご協力を賜りましてありがとうございました。今後もより一層のご利用の程、お願いいたします。

◆LGBTをご存じですか？◆

LGBTとは、【L】レズビアン（女性同性愛者）／【G】ゲイ（男性同性愛者）／【B】バイセクシュアル（両性愛者）／【T】トランスジェンダー（性同一性障がいなど）の頭文字を取った言葉であり、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。

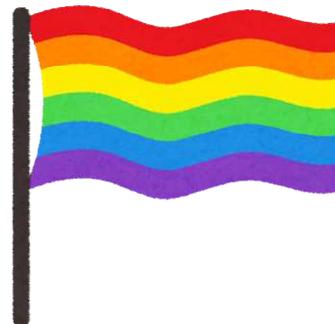
戸籍上の性別は、男性と女性のみであり、婚姻の相手は異性のみとされていますが、個人の性には多様性があり、実は単純に分けられるものではないのです。また、こうしたLGBTである方々の割合が年々増えてきており、友人や職場の同僚、あるいは家族として身近で生活している人が実はLGBTであるかもしれません。

LGBTについてすぐに理解するのは難しいかもしれません。まずは、「性別はこうあるべき」「女性（男性）はこうあるべき」ではなく、「自分らしく生きていく」こと、またそのような社会を作っていくことが大切なのではないでしょうか。

LGBTの象徴とされる「レインボーフラッグ」

それぞれの色には多様性を持った意味が込められています。

赤…生命
橙…癒し
黄…太陽
緑…自然
青…平穏と調和
紫…精神



編集後記：市民のみなさんとともに男女共同参画社会づくりをしていくため、今年も「さざなみ」を発行してまいります。ご意見・ご要望があれば市役所市民協働課までお寄せください。応援よろしく申し上げます。